



サイバー攻撃への 対処法



はじめに

私たちの日常生活や仕事においてパソコンやスマートフォンはなくてはならないものとなっていますが、昨今、ニュースなどでも頻繁に取り上げられているように、世界各国で様々な手口を使ったサイバー攻撃が増えています。

以前なら主に大企業の問題であったものが、現在では中小企業でのセキュリティ・インシデント（情報セキュリティに関する事故や攻撃など）も非常に多く耳にするようになってきました。そのような背景も踏まえると、たとえ中小企業であっても早急に正しいセキュリティ対策に取り組む必要性が求められます。

そこで、第1章では「サイバー攻撃」とはどのようなものなのか、あらためて目的や手段などについて確認するとともに、企業が対策すべきサイバー攻撃の種類について、実際に起こったサイバー攻撃被害の事例を交えながら解説します。

次に、第2章では「ランサムウェア」と呼ばれている、システムやPCを使用不能な状態にし、多大な身代金を要求する非常に危険なウイルスについて解説します。

貴社における正しいセキュリティ対策のために、必要とされる情報をお伝えし、本誌がセキュリティ・インシデントを未然に防ぐ取り組みのきっかけとなれば幸いです。

第1章 サイバー攻撃とは？

～標的型攻撃からDDoS攻撃まで種類を徹底解説～

01 サイバー攻撃とは

「サイバー攻撃」とは、個人や企業、国などの情報を管理しているサーバーや、PC・Webサイトをターゲットにして、

- ・「情報の改ざん・漏えい」
- ・「データの盗取」
- ・「システムの破壊」

などを行うことです。

少し前までのサイバー攻撃の被害といえば、システムにウイルスが入り込んで「データが改ざんされる」または「データが盗まれる」などが目立っていました。

しかし、現在ではSNSの普及やスマートフォン、IoT機器など多数のデバイス機器の登場によって、サイバー機器に対する攻撃方法も多種多様となり、それに連動して被害規模も大きくなっています。

法人企業の場合には、被害総額が直近5年間の平均値ですでに2億円以上を超えており、企業規模にかかわらずセキュリティ対策を整えることが急務となっている状況です。

02 攻撃者の目的

サイバー攻撃の方法が多様であるように、攻撃者の目的も多種多様です。個人情報や企業の取引先データを盗み、情報売買をすることで得られる金銭的盗取が代表的な目的として挙げられますが、その他にも様々な狙いが潜んでいます。

個人、企業、国家、それぞれにおいて想定されるサイバー攻撃の内容や影響を図1にまとめました。

	攻撃内容	影響
個人	<ul style="list-style-type: none">・インターネットバンキングの不正利用・クレジットカード情報の流出や盗取	<ul style="list-style-type: none">・個人情報の不正利用・金銭的損失
企業	<ul style="list-style-type: none">・取引先情報のデータ流出や改ざん・従業員の個人情報の入手	<ul style="list-style-type: none">・社会的地位の失墜・取引先との信頼関係崩壊・経済的損失・従業員の個人情報の不正利用・従業員の金銭的損失
国家	<ul style="list-style-type: none">・機密情報の入手・偽情報の拡散・システム破壊	<ul style="list-style-type: none">・経済的損失・イメージダウン・他国への情報流出・他国への技術流出・悪用

図1 サイバー攻撃の内容と影響

第2章 ランサムウェアとは？

～被害事例やおすすめのセキュリティツールを紹介～

01 ランサムウェアとは？

「ランサムウェア」とは、ユーザーが使用している PC や社内システムを利用不可能な状態に追い込んで、元の状態に戻す代わりに多額の身代金を要求する不正プログラムです。

仮に身代金を支払わなかったとしても、攻撃を受けた社内システムの復旧作業には多くの手間と時間を要します。そのため、ビジネス機会の損失はもちろん管理者の業務負担増大にもつながり、企業にとって大きなダメージとなります。

ランサムウェアには攻撃の兆候や予兆がなく、突然 PC がシステムダウンに追い込まれるため、企業にとって非常に厄介で深刻なダメージを与えるサイバー攻撃です。実際「企業が感じているセキュリティ上の脅威」では毎年トップ5に入っています。

近年では、ユーザー ID やパスワードをハッキングし企業の機密情報や社員の個人情報を盗み出して、闇取引の取引材料として売買されるケースも増えてきました。

02 ランサムウェアによる被害事例

ランサムウェアの被害によって、世界的にも大きなニュースとなった「WannaCry」「Bad Rabbit」「Oni（鬼）」の事例を紹介します。

case 1. 『WannaCry』

2017年に世界150カ国以上で被害をもたらしたランサムウェアです。発生から24時間で30万台以上のPCに被害を与え、特に被害が大きかったイギリスでは、政府システムや病院、鉄道など、機密情報を多く保有している組織や社会インフラとして重要な機能を果たしている組織が狙われました。

WannaCryはランサムウェアに加え、ワームの要素もミックスさせたマルウェアだったのが特徴です。

ワームとは自己増殖が可能なマルウェアで、感染スピードが速く、他のPCやネットワークに侵入し、メールやWebサイトを悪用して次々と感染を広めていきます。

WannaCryは、Windowsの共有プロトコルであるSMB1.0（SMB v1）の領域でのコード処理における脆弱性を利用して、サイバー攻撃を行ってきました。OSやソフトウェア上の脆弱性を突く攻撃のことを「エクспロイト攻撃」と言い、Windowsの脆弱性を突いたWannaCryの攻

小冊子「速習」ご注文書

お手数ですが、本ページをコピーしてご利用下さい。

..... ご注文内容

中小企業経営研究会 行 FAX.03-6808-9678

貴社名

お届け先ご住所 〒

..... TEL: FAX:

..... Eメール: @

..... ご担当者 (部署・お名前)

..... 通信欄 配達日指定など

書名	注冊数
サイバー攻撃への対処法.....	2024年 2月号 × ()
新入社員を即戦力に育てる独自メソッド.....	2024年 1月号 × ()
「OODAループ」と「PDCAサイクル」.....	2023年 12月号 × ()
「社内ネットワーク」の構築法.....	2023年 11月号 × ()
ヒヤリハットの概念.....	2023年 10月号 × ()
昇進させるべき社員の特徵.....	2023年 9月号 × ()
最適な給与を試算するために! 人件費の基礎知識.....	2023年 8月号 × ()
いまさら聞けない! 「中小企業のSEO対策」.....	2023年 7月号 × ()
5S活動の基礎講座.....	2023年 6月号 × ()
Win-Winな関係を構築するコミュニケーションスキル.....	2023年 5月号 × ()
SCM で社内に眠るキャッシュを発掘!.....	2023年 4月号 × ()
外国人材の雇用と有効活用策.....	2023年 3月号 × ()

- 価 格 : 1冊 700円 (定価500円 + 税)(+ 送料150円)
10冊以上ご注文の場合は1冊 550円 (税込)、送料は無料です。
20冊以上ご注文の場合には割引有。

■ 発 送 : 原則注文受付後の翌営業日(平日)に発送。

■ 支払方法 : 銀行振込。商品発送時に請求書を同送いたします。

※ご注文はメールでも承ります。kinchu@map-net.org までお申込みください。